

# なぜ信じられるのか～10の理由

## 信仰についての疑問に答える

現代人はスピリチュアルというものに興味をもっています。霊の世界に対する関心は、昔からありました。しかし、それによる弊害も起こっています。何を信じるかということは、小さな問題ではありません。なぜなら、人の運命を決定づけてしまうからです。

私たちは何を信じればよいのでしょうか。誰を信じればよいのでしょうか。これらの答えによって、私たちの人生は方向づけられていきます。神は存在するのでしょうか。聖書は信じるに値するのでしょうか。きちんとした証拠をもとに、これらを論じることはできるのでしょうか。この問題を一度は考えてみるべきです。

この冊子は、この問題に関する信頼に値する証拠を集めたものです。その証拠は信頼に値するだけでなく、永遠の扉を開く鍵を指し示しています。もしあなたが、信じるに値するものを捜しているなら、この冊子を読んでみてください。そして、これらの証拠の信憑性について考えてみてください。

ビル・クラウダー

---

この冊子は、正統な基督教の教義に基づいて書かれたものです。エホバの証人、末日聖徒イエス・キリスト教会（モルモン教）、統一協会とは関係ありません。

## なぜ信じられるのか ～ 10 の理由 信仰についての疑問に答える

2011 年 9 月 10 日 第 1 刷発行

2013 年 7 月 10 日 PDF 版

翻訳： 田井淳子、福田典子  
表紙写真： ©Alex Soh, Ella, Sri Lanka  
発行所： 日本アールビーシーミニストリーズ  
発行人： 田井淳子  
住所： 〒 630-0291 奈良県生駒郵便局私書箱 46 号  
TEL : 0743-75-8230  
FAX : 0743-75-8299  
EMAIL : [japan@rbc.org](mailto:japan@rbc.org)  
WEBSITE : <http://rbcjp.info/>

聖書箇所は新改訳聖書より引用

原作 “Ten Reasons To Believe” ©1982 by Thomas Nelson

RBC Ministries, Grand Rapids, Michigan

Printed in Malaysia

転載・転記には、許可が必要です。

乱丁・落丁はお取替えいたしますので、ご連絡ください。

冊子は非売品です。RBC ミニストリーズは、特定の教会や教団にではなく読者のみなさまの献金によって支えられ、人生を変える聖書の英知を伝えています。

# なぜ信じられるのか ～ 10の理由

## ◆目次

聖書 .....	4
神の存在 .....	13
キリストを信じる信仰.....	22
信仰をあなた自身のものとする .....	31

Ten Reasons To Believe

なぜ信じられるのか～10の理由

# 聖書

# 1. 聖書の正直さ

聖書は信じられないほど正直です。この本は、「選ばれた民」の父祖ヤコブが、詐欺師のようだったことを隠しません<sup>1</sup>。神の掟（おきて）を取り次いだモーセは、嫌々指導者になった小心者で、同胞を救おうと人殺しをして荒野に逃亡した過去がある、と記録します<sup>2</sup>。ダビデ王については、国民に最も慕われ、社会的のみならず霊的な指導者でしたが、人妻と不倫をしたうえ、罪を隠蔽（いんぺい）しようとして女性の夫を計画的に殺害したと明かします<sup>3</sup>。また神の民イスラエルは、ソドムとゴモラの方がはるかにましだ、というほど墮落した時期があると非難しています<sup>4</sup>。

聖書は、人の本質というものは神に反している、と断言します。そして、悩み多き未来を予測します。天国への道は狭く地獄への道は広い、と教えます。聖書は、人間の本質や信仰に関し、楽観的で安易な答えを求める人々のために書かれたものではありません。

---

1 旧約聖書：創世記 25:19 以下を参照。

2 旧約聖書：出エジプト記 2:1 以下を参照。

3 旧約聖書：IIサムエル 11:2 以下を参照。

4 旧約聖書：エゼキエル書 16:46-52 を参照。

## 2. 聖書の不変性

現在のイスラエルが建国<sup>5</sup>され、数千年にわたり離散していたユダヤ民族が続々この地に帰還していたころ、放牧をしていたひとりの羊飼が、考古学史上、最も貴重な宝を発見しました。死海の北西の端にある洞穴から、2千年前の古文書類が入った、壊れた壺が出土しました。さらなる発見の中には、さらに千年もさかのぼる古文書も含まれていました。その中で最も重要なものは、イザヤ書の写本です。この写本は、私たちが現在使っている旧約聖書のイザヤ書と基本的に同じだと判明<sup>6</sup>しました。

土に埋もれていた死海文書は、ふるさとに帰って来たユダヤ人を出迎えようとしたかのように出現しました。この発見で、「聖書は、時間の経過と人為的加筆により、原形を留めていない」とする主張は、事実と反することが明らかになりました。

## 3. 聖書の主張

聖書が自らについて何と言っているか、それを知っておくのは重要です。聖書の筆者たちが、我々は神のことばを語っていると主張していないのに、私たちがそう決めるのは出しゃばっ

---

5 1948年に独立を宣言した。

6 1947年以来数回にわたって死海北岸クムランその他の洞窟から発見。「死海写本」と呼ばれる。

た行為です。もし私たちと聖書の筆者たちの見解が違うなら、現状とは別の諸々の問題が生じます。聖書は、解き明かされていない謎に満ちた歴史と倫理に関わる書物であり続けますが、世界中の数えきれない教会やシナゴグに靈感を与えたあの本、とは言えなくなります。神を代弁していないなら、聖書は世界中の何億というクリスチャンやユダヤ教徒の信仰の基盤でありうるはずはないからです。

しかし、聖書の著者たちは、数多くの説明と証拠で裏打ちしながら、「聖書は神の靈感によって書かれた」と宣言します。古今東西の大勢の人々が、永遠のいのちという聖書の主張を信じてきました。ですから、もし聖書の筆者たちが、この書の起源に関し、時代を超えて嘘をつき続けてきたとしたら、聖書は良い書物ではありません。

## 4. 聖書の奇跡

イスラエル民族の出エジプト体験<sup>9</sup>が、神はイスラエルに自らをあらわした、と信じる歴史的基盤です。モーセは紅海が分かれたと語っているのに、それが事実でないなら、旧約聖書が神のことばであるという権威は失われます。同様に、新約聖書の拠り所も奇跡の記録です。もしイエスが死からよみがえ

---

7 新約聖書：ペテロの手紙第二 1:16-21 を参照。

8 新約聖書：テモテへの手紙第二 3:16、ローマ人への手紙 1:2 を参照。

9 預言者モーセが、虐げられていたイスラエル民族を率いてエジプトを脱出した。旧約聖書「出エジプト記」に記されている。

らなかったなら、使徒<sup>10</sup>パウロも認めている様に、クリスチャンの信仰は嘘の上に立脚していません<sup>11</sup>。新約聖書は、イエスの復活の目撃者の名前も記しています。こうして、この奇跡の信憑（しんぴょう）性を明らかにしています。イエス復活のニュースは、それが実際に起きた時点から比較的短期間で多くの人々に伝えられたので、当時の人は望むなら誰でも目撃者<sup>12</sup>に会って、真偽を検証することができました。

証言者の多くは、迫害され殺されました。彼らは、宗教や道徳に関わる抽象的な信念のためでなく、イエスは死からよみがえった、という主張を貫いたために殺されました。殉教そのものは珍しくありませんが、なぜ命をささげたのかという点が重要です。人は、真実だと信じているなら命をかけるかもしれませんが、嘘と分かっていることのために、そうはしないでしょ。

## 5. 聖書の統一性

聖書に収められている66巻の書物は、1,600年以上の間に40人の多彩な人たちによって書かれました。400年という長い沈黙の期間が、旧約聖書39巻と新約聖書27巻の間にあります。それにもかかわらず、聖書は、創世記からヨハネの黙示録までひもとかれていく、ひとつの物語です。「なぜ存在しているのか」、「どうやって恐れと向き合うのか」、「みんなと

10 【使徒】イエスが福音を伝えるために特に選んだ弟子。

11 新約聖書：コリント人への手紙第一 15:14-17を参照。

12 新約聖書：コリント人への手紙第一 15:1-8を参照

上手くやっていくにはどうすればよいのか」、「どうしたら現状に押しつぶされず希望を持ち続けていけるのか」、「どうすれば創造主と和解できるのか」——。このような悩みに対する各書卷の答えは、一貫しています。それは、聖書が別々の本の集まりではなく、一冊の完結した本だからです。

## 6. 聖書の歴史的・地理的記録の正確性

歴史や地理に関する聖書の記述を疑問視する人が、過去には大勢いました。しかし近年になると、聖書に記録された場所、民族、文化などが実存したと思われる数々の考古学的証拠が発掘されました。これによって、聖書の記録は研究者の憶測よりはるかに信憑性が高い、ということが繰り返し確認されました。聖書に描かれている土地を旅したり博物館を訪れると、聖書の歴史的および地理的正確性に、感銘を受けずにはいられません。

## 7. キリストによる聖書の認証

多くの人が聖書は良い本だと言いました。しかし、ナザレのイエス<sup>13</sup>による見解ほど説得力あるものはないでしょう。イエ

---

13 ユダヤのベツレヘムで生まれ、その後ユダヤの王の手を逃れてナザレに住んだ。

スは、言葉だけでなく行動で聖書の権威を明らかにしました。サタンの試みに立ち向かわれたときや、公の場で群衆に教えていたとき、そして苦しみ<sup>14</sup>のときも、旧約聖書は単なる民族的伝統ではなくそれ以上のものだ、との信仰がはっきり読み取れる行動をなさいました。

イエスは、聖書がご自分について書かれたものだと理解していました。次のような言葉を同胞に語られています。「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。それなのに、あなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません」（ヨハネの福音書 5 章 39-40 節）。

## 8. 聖書の預言の 正確さ

聖書はモーセの時代から、信じたくないような事が起こる、と予知してきました。イスラエル民族が約束の地に足を踏み入れる前、モーセは予告しました。イスラエルは、その土地に入った後に神に対して不実になり、神が与えた土地を失うことになる。そして、世界中に散らばった後、再び諸国から集められ<sup>15</sup>建て直される、と預言しています<sup>16</sup>。

14 新約聖書：マタイの福音書 4:1-11、5:17-19 を参照。

15 【預言】神から預けられた言葉を人々に伝えること。また、その言葉。  
旧約聖書：申命記 18:15、18 を参照。

16 旧約聖書：申命記 28 章 -31 章を参照。

旧約聖書の預言の中心は、救い主メシヤ<sup>17</sup>についてです。メシヤが到来し、神の民を罪から救い出し、最後には世界中の人々に裁きと平和をもたらす、と約束しています。

## 9. 聖書の維持継続

モーセ五書<sup>18</sup>は、ヒンズー教最古の経典が出される500年前に完成しました。モーセは、モハメッドがコーランを書く2千年も前に、創世記を執筆しました。聖書は長い歴史を持ち人々に愛され続けてきましたが、同時に、これほど憎まれた本もありません。どの時代にも、それを買う人がいて、学ぶ人がいて、数々の句が引用されている、という本は他にありません。

何百万という書籍が出版され消えていく中、聖書は今でも書籍の発行部数を評価する基準とされています。その教えを快く思わない人は無視していますが、まぎれもなく西欧文明の中心です。

---

17 【メシヤ】もとヘブライ語で「油を注がれた者」の意。「キリスト」はそのギリシャ語訳。

18 【モーセ五書】旧約聖書の最初の5つの書「創世記」「出エジプト記」「レビ記」「民数記」「申命記」を指し、律法とも呼ばれる。

# 10. 聖書の力 生き方を変える

聖書を信じていると言いながら、その信仰が生き方に反映されない多くの人がいるのはどうしたことか、と批判する人がいます。しかし、聖書によって人生を変えられた人々が歴史に足跡を残しているのも事実です。モーセの十戒<sup>19</sup>は、数えきれないほど多くの人々の道徳基準となりました。苦しいときや悲しいときには、ダビデ王が書いた詩篇は、心を慰めてくれます。また、イエスの山上の垂訓<sup>20</sup>は、偏狭な正義感や律法主義を正しました。そして、コリント人への手紙第一 13 章でパウロが描写した愛の定義は、多くの怒りを静めました。

使徒パウロやアウグスチヌス、マルチン・ルター、ジョン・ニュートン、そして、レオ・トルストイや C.S. ルイスといった人々の生涯は、それぞれに、聖書が人の生き方を変え得ることを物語っています。アイルランドのケルト民族、ノルウェーのバイキング、エクアドルのアウカインディアンなどのように、神のことばとイエスのすばらしい生涯の物語に感化され、国家や部族が丸ごと悔い改めた例もあります。

---

19 【モーセの十戒】神がシナイ山でモーセに与えたという 10 ヵ条の掟。旧約聖書：出エジプト記 20:2-17 を参照。

20 新約聖書：マタイによる福音書 5-7 章

Ten Reasons To Believe

なぜ信じられるのか ~ 10の理由

# 神の存在

# 1. 何かを信ぜずには いられない人間

人は誰でも何かを信じて生きています。たとえ最終的には証明できなくても、何かを信じることなく、人生の重荷や生活の心配に耐えていける人はひとりもいません。無神論者は、神がないことを証明できませんが、それでも神の存在を否定します。汎神論<sup>1</sup>（はんしんろん）者は、あらゆるものが神であると信じていますが、それを証明できません。実用主義<sup>2</sup>者は、将来的な価値を有するものが現在も有益である、と証明することはできません。不可知論<sup>3</sup>者は、人間は感覚的に経験したこと以外は知り得ないと信じています。しかし、この主張を証明することも不可能です。

たとえそれが、自分以外のものは何も信じない、ということだとしても、人は何かを信じる「信仰」を避けることはできません。では、何がそれを決定するのでしょうか。それは、実体験と折り合う信仰の根拠があるか、また、その信仰の根拠をどう解釈するかです。さらには、自ら進んで信じたいと思う人や信条がそこにあるか、ということです。

---

1 【汎神論】一切万有は神であり、神と世界とは同一であるとする宗教観・哲学観。

2 【実用主義】事象に即して具体的に考える立場。観念の意味と真理性は、それを行動に移した結果の有効性いかんによって明らかにされるとする。プラグマティズム。

3 【不可知論】意識に与えられる感覚的経験の背後にある実在は論証的には認識できないという説。

## 2. 科学の限界

科学は、測定可能なものや反復可能なものを用いて、物事を検証します。このため、適応分野は限られ、生命の起源や意義、または、道徳を論じることはできません。したがって科学は、それを用いる個々の人間の価値観や信条によって、善悪のいずれにでも用いることができます。例えば、科学の力でワクチンの開発ができると同時に、毒物を作り出すこともできます。原子力発電所を作ることも、原子爆弾を作ることもできます。環境を保護するために利用できる一方で、環境を破壊することもできます。神の御心（みこころ）のために用いることも、神に反抗する手段にすることもできるのです。

科学自体は、私たちの人生の土台となる道徳基準や価値観を与えてはくれません。科学にできることは、自然界の法則や仕組みを説明することです。自然界の起源を示すことはできません。

## 3. 進化論の問題点

現在の進化論では未解明の部分が発見され、生命体は長い時間の経過と共に徐々に進化した、と証明される日がいつか来るとしましょう。そうすれば神は必要なくなる、と考えている人々がいます。しかし、この見解は、ある問題を見落としています。

仮に生命体が徐々に進化したとしても、はじめにそれを創った創造主は必要です。ですから、多くの進化論を信じる科学者も、この広大で複雑な宇宙は単なる偶然の産物だ、とは信じていません。

生命体の素材を用意し、発達の法則を定め、そのプロセスを開始させた知性豊かな設計者が存在する。多くの人々は、好むと好まざるとにかかわらず、この可能性は認めざるを得ない、と感じています。また、実際に存在するだろうと考えている科学者も少なくありません。

## 4. 心の傾向

人類は本質的に宗教と切り離すことができない存在です。例えば、人は苦難が不意に襲いかかったとき、神頼みをしたり神を呪ったりします。単なる悪癖、もしくは、社会悪のひとつだと片づける人もいるでしょうが、それでは問題を解決することができません。神の存在を否定しても、いのちの謎解きに役立たないからです。社会生活に使う言葉から「神」という語を排除しても、「この世の人生の他に何かあるに違いない」という心の叫びを抹消することはできません<sup>4</sup>。真理、美、そして愛には、心を切なくさせる何かがあります。人は「地球上の不公平と苦痛をなぜ放っておかれるのか」と神に反発しますが、同時に、自分の生き方について「このままで良いはず

---

4 旧約聖書：伝道者の書 3:11 を参照。

がない」と良心のとがめを感じます。<sup>5</sup> 私たち人間は、自分より優れた大きな存在がおられることを、いや応なしに感じているのです。

## 5. 創世記の背景

聖書の冒頭、創世記1章1節<sup>6</sup>は、神の存在を当然のこととして書いています。しかし、疑う人は確かめることができました。というのは、この書は、歴史上のある特定の時期に書かれたからです。著者モーセは、イスラエルの民がエジプトから脱出した後「初めに、神は…」という聖書の第1節を書きました。何百万というユダヤやエジプトの民は次々と起こる奇跡を目撃したと言われていますが、モーセの執筆はその後のことです。

聖書の神は、出エジプトから救い主メシヤの到来まで、歴史上実在した時と場所でご自分を示すわざを成されました。これらはすべて目撃された事実でした。ですから、疑う人は現場に出かけて行き、目撃者から話を聞くことができたのです。

---

5 新約聖書：ローマ人への手紙2:14-15を参照。

6 聖書は旧約聖書39巻、新約聖書27巻からなり、その第1巻目が創世記。

## 6. イスラエル民族

イスラエル民族<sup>7</sup>は、しばしば神の存在を否定する根拠に使われます。ひと握りの人々を「選ばれた民」とする不公平な神など信じられない、という人は少なくありません。さらに、この「選民」を守らず、彼らが貨車でアウシュビッツやダッハウなどの強制収容所へ連行され虐殺されるままにした神など、どうしても信じられない、という人もいます。

しかし、イスラエル民族の行く末は、旧約聖書の歴史の初めからずっと記されています。モーセは、イスラエルの民が約束の地を手に入れるだろう、と預言しました。しかしそれだけではなく、多くの聖書の預言者と同様、イスラエルの民が比類ない苦しみを舐め世界中に散らされる、そしてやがては、神への反逆を悔い改めて神に立ち返り、最後には回復するだろう、と預言<sup>8</sup>しています。

## 7. キリストの宣言

神の存在を疑う人は「もしも神がいて、自分を信じてもらいたいと思っているならば、人の前に姿をあらわしたはずだ」と

---

7 アブラハム・イサク・ヤコブを先祖とし、ヤコブ(のちのイスラエル)の子ユダの名から、ユダヤ人と呼ばれる。

8 旧約聖書：申命記 28-34 章、イザヤ書 2:1-5、エゼキエル書 37-38 章を参照。

言い、自分を納得させています。ところが聖書は、神がご自分をあらわした、と語ります。

紀元前7世紀、預言者イザヤは、神の民にひとつのしるしが与えられる、と言いました。そのしるしとは、ひとりの処女の胎に男の子が宿り、「神は私たちとともにおられる」という意味の名で呼ばれるようになる、というものでした。イザヤの預言はこうです。この子どもは「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君と呼ばれる」（イザヤ書 9:6）。さらには、神から養れを受ける前に、人の罪の贖いのために死ぬだろう。新約聖書によれば、イエスは自分が救い主メシヤであると宣言した、といえます。そして、ローマ帝国の総督、ポンテオ・ピラトの治世下で「自らイスラエルの王と称し、神と等しいものとした」という罪状により、十字架につけられ処刑されました。<sup>11</sup>

## 8. 奇跡が本物だった証拠

イエスは、自分が待望の救い主メシヤだ、と主張していただけではありません。身体の麻痺して動けない人を癒して動けるようにしたり、水の上を歩いたり、さらには、十字架上で<sup>12</sup>の不当な死を甘んじて受け、墓に葬られたのち、三日目に死からよみがえり、弟子たちの前に姿を現しました。イエスに従っ

9 旧約聖書：イザヤ書 7:14、新約聖書：マタイの福音書 1:23 を参照。

10 旧約聖書：イザヤ書 53 章を参照。

11 新約聖書：ヨハネの福音書 5:18 を参照。

12 新約聖書：ルカ 23-24 章を参照。

ていた人たちは、これらの奇跡を目撃して、イエスを信じるようになったと言いました。<sup>13</sup>

この人たちの最も説得力ある証言は、イエスの墓が空だと分かってから、多くの人の目の前で雲の上高くに引き上げられていくまでの間、<sup>14</sup>実際にキリストを見たり、直接に話をしたりしたという人がたくさんいる、というものです。こう証言することは、これらの人々にとって何の得にもなりません。裕福になったり、権力を手にしたりという望みはありません。それどころか迫害されました。しかし彼らは動じません。久しく待ち望んだイスラエルの救い主がついに来られ、自分たちのただ中に住まわれた。そのお方は罪の贖いとなり、葬られ、死からよみがえり、信じる者を神のもとにつれていくことができるかと確かに示してくださいました。彼らは最後の瞬間までこう証言しつつ、殉教の死を遂げました。

## 9. 自然の証明

神の存在を信じていると言いながら、その真実と真剣に向き合わない人がいます。その理由は、彼らの神観です。彼らは、神は宇宙を創造するようなスケールの大きいお方なので、私たちのちっぽけな悩みには関心を払われないと考えています。

しかしイエスは、自然の営みの中に暗示されていることを明

13 新約聖書：コリント人への手紙第一 15:1-8 を参照。

14 新約聖書：使徒の働き 1:9 を参照。

らかにしてくださいました。神は本当に大きなお方で、私たちの人生のどんな小さいことにも心を配ってくださる、という真理です。イエスを見ていれば、神は私たちの行動をご存知だけでなく、その行動に至る動機や胸の内さえお見通しなのだと分かります。イエスは教えられました。神は、私たちの頭に髪<sup>15</sup>の毛が何本あるかを知っておられ、心の悩みもすべてご存知です。空から落ちた雀のことまで、気にかけてくださいます。

## 10. 経験という声

聖書は語ります。神は人生を取り巻く環境を、人が神を求めるように設計されました。さらにこう言います。神は、見いだそうと探し求める人の近くにおられます。使徒パウロの言葉によれば、神は霊であり、私たちはこのお方の中に「生き、動き、<sup>16</sup>また存在している」のです。

しかし、人が神を求めるなら、自分のやり方ではなく神の定めた方法に従わなければなりません。聖書はこの点についても明白です。神は、ご自分をあらわす、と約束してくださいました。しかし、誰でも神を見つけられるのではありません。自分には神が必要だと認め、自分の力ではなく神を信じようとする者だけが、神と出会えるのです。

---

15 旧約聖書：詩篇 139 篇、新約聖書：マタイの福音書 6 章を参照。

16 新約聖書：使徒の働き 17:26-28 節を参照。

Ten Reasons To Believe

なぜ信じられるのか～10の理由

# キリスト を信じる信仰

# 1. 創始者の信頼性

キリストは、ご自分が天国から地上にやって来た理由について、こう語られます。それは、預言を成就して私たちの罪のために死に、キリストを信じるすべての者たちをご自分の父である神のもとに連れて行くためです。論理的に考えれば、イエス・キリストは、大嘘つきか狂人、もしくは伝説上の人物、しかしそのいずれでもないなら、本当に天から来た主なる神だと言えるでしょう。

一世紀にイエスに従った弟子たちは、イエス・キリストは何者なのか、自分たちなりの結論を出しました。彼らは、イエスが水の上を歩き、嵐を静めたのを見たと言いました。歩けない人の足を癒し、わずかな魚とパンを増やして5千人に分け与え、責められるところが一切ない、落ち度のない生活を送ったと語りました。さらに、イエスが死からよみがえったのを見た、と証言しました。イエスの生涯の中で、お供をしていた一部の者が、「イエスの教えには問題がある」と離れていった時期がありました。イエスはその時、自分に最も近かった者たちに向かって「同じ様に私のもとから去りたいか」とお尋ねになりました。ペテロは、他の弟子を代弁してこう言いました。「主よ。私たちがだれのところに行きましょう。あなたは、永遠のいのちのことばを持っておられます。私たちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています」(ヨハネの福音書6章68-69節)。

## 2. 基盤である 聖書の信頼性

聖書は、クリスチャンの信仰の基盤になっている唯一の本です。1,600年にわたり、約40人の手で書き続けられました。しかし、聖書が語る物語はひとつです。それは天地の創造に始まり、永遠への入口で終わっています。聖書に記されている史実や地理に関する記録の正確さは、考古学が立証します。聖書が正確に書き写され維持されてきたことは、クムランの死海文書<sup>1</sup>によって確認されています。聖書は、東洋でも西洋でもなく、世界文明の発祥の地である中近東にその起源を持ち、今もなお、霊的な力と預言の確かさを持って私たちに語り続けています。

## 3. 人生を どう説明しているか

あらゆる宗教が、私たちの存在には意味があると言います。すべての宗教が、「なぜ人は自分の存在価値を求めて止まないのか」、「なぜこの世には悲しみや痛みが存在するのか」、「なぜ誰も死を避けることができないのか」について説明しようとしています。すべての宗教が、宇宙の仕組みと人間の生命がどう関連するのかを説き明かそうと試みています。しかし、キリストを信じる信仰の中にこそ、自然の種や生態系に関する細か

---

1 本書の聖書2.「聖書の不変性」(P6)を参照。

い配慮がはっきりと現れています。

キリストは、神について教えてください。神は、父なる神であり、地面に落ちた雀の一羽一羽に気づき、私たち一人ひとりの頭に髪の毛が何本あるかまで知っておられると言われます。また、このキリストは、すべての被造物を気づかっておられる神をあらわしています。キリストは神ですが、人の姿を身にまとい、私たちと同じ感情を持ち、私たちの身代わりとなって苦しまれ、死んでくださいました。自然の有り様は、細部にいたるまで、神がご自分のお造りになった物をどこまでもつくしんでおられることを示しています<sup>3</sup>。キリストが、その神を明らかにしておられます。

## 4. 過去との継続性

キリストへの信仰は、私たちが自分のルーツを遠くさかのぼることを可能にします。というのは、この信仰が、アダム、アブラハム、サラ、ソロモンといった、聖書に記されている先人たちが礼拝したお方を受け入れることだからです。そのお方は、すべてをお造りになった、主なる神です。

イエスは、過去を拒絶<sup>4</sup>なさいませんでした。ご自身が過去の神でもあるからです。イエスは、人々の間に住まれ、人間が本来どう生きるべきか、身をもって教えてくださいました。

2 新約聖書：マタイの福音書 10:29-31 を参照。

3 旧約聖書：詩篇 19:1-6、新約聖書：ローマ人への手紙 1:16-25 を参照。

4 新約聖書：ヨハネの福音書 1:1-14 を参照。

また、ご自分の死を通して、旧約聖書が定めた犠牲制度の要求を、完全に満たしてくださいました。イエスが死人の内からよみがえられた時、私たちに救いが与えられ、アブラハムへの約束が成就しました。それは、「アブラハムの子孫を通して全世界を祝福する」という、神があらかじめくださった約束です。

キリストを信じる信仰は、イエスの誕生を機に生まれたものではありません。創世記からヨハネの黙示録までは、ひとつの継続した物語です。それはイエスの物語、すなわち、彼の物語「His story」（歴史を意味する英単語 History の語源）です。また同時に、私たちの物語でもあります。

## 5. 信仰の基盤と 宣言していること

世界で最初のクリスチャンたちは、既成の社会に政治的、または宗教的な異議をとнаえて登場したわけではありません。道徳や社会問題に最も関心を寄せていた、権威ある神学者や社会学者、もしくは哲学者というわけでもありませんでした。この人たちは、あることの証人だったのです。

彼らは命さえ危険にさらし、証しました。ひとりの無実の男が死に、三日目に奇跡的によみがえり、自分たちのところへ戻って来て共に歩んだ、と語りました。この証言の内容は、大変具体的です。イエスは、ローマの総督ポンテオ・ピラトに

5 新約聖書：使徒の働き 2:22-39、コリント人への手紙第一 15:1-8 を参照。

6 新約聖書：使徒の働き 5:17-42 を参照。

よって十字架につけられ処刑された後、そのからだは、借りた墓の中に埋められました。墓は封印され、墓荒らしを防ぐための衛兵が配置されていたにもかかわらず、三日後には空でした。これらの出来事を目撃した者たちは、命を犠牲にしても、イエスが生きていると宣（の）べ伝え始めました。

## 6. 人生を変える威力

人生がすっかり変わったのは、最初の弟子たちだけではありません。彼らの最大の敵だった人物も、弟子たち同様、劇的な変化を遂げました。クリスチャンの迫害者だったパウロは、卓越した伝道者<sup>8</sup>に変えられました。

使徒パウロは人々に起こった様々な変化を思い出し、コリントの教会に宛てた手紙の中にこう書いています。「だまされてはいけません。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、酒に酔う者、そしる者、略奪する者はみな、神の国を相続することができません。あなたがたの中のある人たちは以前はそのような者でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです」（コリント人への手紙第一 6 章 9-11 節）。

---

7 【使徒パウロ】 律法を厳しく守るユダヤ教徒としてイエスを信じる者を激しく迫害していたが、回心し、イエスを述べ伝える者となった。新約聖書：使徒の働き 22 章を参照。

8 新約聖書：ガラテヤ人への手紙 1:11-24 を参照。

## 7. 人間の性質に関する分析

聖書は、社会の本当の問題は心の問題だ、と教えています。今日は情報と技術の時代ですが、人格や品性の荒廃が進み、家族、政府、科学、産業、宗教、教育、芸術などあらゆる分野の制度が、汚され崩れつつあります。歴史上、最も進んだ社会のひとつであるにもかかわらず、企業倫理の崩壊、減らない自殺者、薬物依存、また虐待や家庭崩壊など、様々な問題で、私たちの評判はすっかり損なわれています。

私たちの抱える問題の原因は、教育の不徹底や食生活の乱れ、または無責任な政府にある、と大勢の人が考えています。しかし、イエスは、すべての時代に向けてこう警鐘しています。「悪い考え、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、ののしりは心から出て来るからです。これらは、人を汚すものです」(マタイの福音書 15 章 19-20 節)。

## 8. 人類の達成をどう見ているか

何世代にもわたり人類は、最善を手にしたいと望み、努力してきました。この世から戦いをなくす名目で、何度も戦争を繰り返しました。行儀がよく賢い子供たちを育てようと、数々の教育理論を開発し、苦しい仕事からの解放を求めて、また様々な技術を発明しました。それでもなお、私たちの世代は、新

約聖書が描写する終末の様子に、かつてないほど似ています。

新約聖書には、終わりの時代には、戦争のことや戦争の噂を聞くようになり、地震や病気が多く起こる、と書かれています。さらにその時代の特徴は、人々の愛情が冷え、靈的に欺かれる人々が増えることだ、とも書かれています<sup>9</sup>。

## 9. 信仰が社会に及ぼす影響

イエスは、ナザレ出身の大工でした。このひとりのラビ（ユダヤ人の教師）が、世界を変えてしまいました。

暦や日付入りの文書が、イエスの誕生を暗黙のうちに証言しています。十字架は、屋根の上から、あるいは、ペンダントやイヤリングとなって、イエスの死を目に見える形で証しています。科学技術の発展や、産業を活性化する職場倫理などの基盤を形成してきたのは、聖書の価値観を直接的、または間接的に受けて形成された西側諸国の世界観です。また、社会の道德基準や、社会的弱者を守るという働きの多くも、元をたどれば、キリストを信じる信仰の基本的な価値観に由来しています。

9 新約聖書：マタイの福音書 24:5-31、テモテへの手紙第二 3:1-5を参照。

# 10. 救いの手を差し伸べていること

救い主イエスは亡くなったが、墓からよみがえらなかった、という宗教観を持っている人もいます。しかし、イエスは、死を克服した唯一の神です。そして、この信仰だけが、イエスを信じる者たちすべてに、永遠のいのちという贈り物を差し出しています。赦しと永遠のいのちを約束しているのは、キリストを信じる信仰だけです。おぼれている人がレスキュー隊に助けを求め、身を任せるのと同じ様に、神を呼び求め、信頼しさえすれば神の家族になれると約束しています。このような信仰は、他にはありません<sup>10</sup>。

救いは、私たちがキリストのために何をしたかではありません。キリストがしてくださったことを、私たちが受け入れることです。救われるために必要なのは、道德面や宗教面での努力ではなく、自分が罪人であり、それについて自分は何もできない、と認めることです。まず、失敗を認め、告白することが不可欠です。自らの信仰心で悟りを開くことが、キリストの救いをもたらすわけではありません。キリストは、従って来なさいとおっしゃいますが、このお方を信じる信仰が他と異なる点は、救われるために従うのではないことです。自分を救ってくださった唯一の救い主に、愛と感謝と信頼の気持ち<sup>11</sup>を現すために、ついて行くのです。

10 新約聖書：ローマ人への手紙 10:9-13 を参照。

11 新約聖書：エペソ人への手紙 2:8-10 を参照。

## 信仰をあなた自身のものとする

キリストへの信仰に、まだ納得がいかないと感じているとしても、そう思っているのはあなたひとりではありません。同時に、その疑いを自分で解決する必要はない、とイエスが教えていることも知ってください。イエスは言いました。「だれでも神のみこころを行おうと願うなら、その人には、この教えが神から出たものか、わたしが自分から語っているのかがわかります」(ヨハネの福音書 7 章 17 節)。

もし、キリストを信じることは理にかなっていると思うなら、聖書が神の家族に語っている言葉を忘れないでください。「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行ないによるものではありません。だれも誇ることをないためです」(エペソ人への手紙 2 章 8-9 節)。キリストによる救いは、私たちの努力の報いではありません。キリストに信頼する者たちすべてに与えられる贈り物です。

キリストへの信仰の正当性、必要性などに関してご質問がある場合は、お近くの教会をご紹介します。冊子裏面の連絡先にお問い合わせください。

※脚注の用語は岩波書店 広辞苑 第五版を引用、または、いのちのことば社 新キリスト教辞典を参照しました。

## 神は信頼 できるお方

聖書のみことば：  
詩篇 84

万軍の主よ。なんと幸  
いなことでしょう。あな  
たに信頼するその人は。

——詩篇 84 : 12

**窓** 辺にある椅子に腰掛け、木立の向こうの山をぼんやり眺めていました。ふと気づくと、一匹のキツネが、私を見上げています。まるで置物のように、じっとしていません。

数日前、そのキツネを木々が茂る庭先で見かけました。振り返って見つめる目は、不安げでした。私は台所へ行き卵を取ってくると、キツネのいた場所にそれを転がしました。それから毎日、庭の芝生の上に卵を置くと、キツネはゆっくり用心深く近づき、それをくわえると走り去っていきました。しかし今では、戸口まで卵を取りに来ます。たぶん、私を信用するようになったのでしょう。

私の妻は、これはダビデの「主のすばらしさを味わい、これを見つめよ」（詩 34:8）という勧めのようだ、と言います。どうすれば、こうできるのでしょうか。神のみことばを受け取ることが出発点です。聖書を読んで、神の情け深さと愛を味わえば、このお方は信頼できると分かってきます（84:12）。恐ろしくて近づけない、ということはありません。神に対する恐怖心は、健全な畏敬の念に変えられるでしょう。

キツネが最初は用心深かったように、あなたも今は神を信じ切れない、と感じているかもしれません。しかし、神に賭けてみませんか。必ず「あなたを愛している」という事実が証明されます。福音書に記されたイエスの生涯を読みましょう。詩篇に記された賛美の歌を読みましょう。神のすばらしさを、味見してみしましょう。（David Roper）

神の愛が届かない人など、ひとりもない。